2017.12

ジャスピタ取扱説明書

接着剤施工の大事なポイント

・改良圧着張り(全面接着)で施工して下さい。
・下地・タイル共によく乾燥させ、埃・油分の付着が無いことを確認して施工して下さい。
・強度に問題の無い下地に施工して下さい。
・2m を超える高さへの施工の際は、必ず落下防止金具を併用して下さい。

■用途

●木造住宅外装窯業系サイディング下地のタイル張り　●内外装乾式下地のタイル張り(天井は不適)　●内外コンクリート、モルタル下地でよく乾燥した下地のタイル張り　●押し出し成形セメント板、ALC、硅カル板、スレート板、合板、鉄、ステンレスのタイル張り　●タイル on タイル(磁器質タイル以外の箇所)　●床暖房施工接着剤　●大型タイル　パテ張り工法　●下地調整材(厚み 5mm 以内)

■適用タイル：陶磁器質タイル、各種ブリックタイル、レンガタイル、石材他

※セメント成形擬石(ブリック含む)は接着力向上のため、石材は染み出し防止のため、当社販売の EP プライマーをご利用下さい。

■使用できない箇所

●80℃以上の高温の場所　●湿潤面、濡れた下地、水中での施工　●直火の影響を受ける場所　●フッ素、シリコーン樹脂塗装面　●プラスチック、P タイル、塩ビクロス　●有機酸にさらされる場所　●アスファルト下地面　●ガラスモザイク(外部)　●紫外線にさらされるガラス下地面

■標準使用量(平滑下地面)：●目地詰め工法：約 2～3kg/㎡　●目地無し工法：約 3～4kg/㎡　●大型タイル：約 3～5kg/㎡

■施工方法

①下地処理：平滑(2m につき±2mm 以下)に仕上げ、付着しているエフロ、レイタンス、油脂分、塵埃等は除去して下さい。
※ブロック下地施工の場合は、当社販売の EP プライマーで処理をして下さい。

②接着剤の塗布

1)フィルムパック端部をカッターナイフ等で切り込みを入れ開封して下さい。
2)接着剤をコテ等で必要量絞り出して下さい。
3)下地によくなじませるように塗布した後、クシ目ゴテ(3～5mm)を用いてしっかりクシ目を立てて下さい。

③タイルの張り付け

・接着剤塗り付け後直ちに張り付け、よくもみ込み、接着剤とタイルがなじむようにたたき板を使って張り付けて下さい。
・約 2 ㎡ごとにタイルを 1 枚剥がし、タイル裏面に接着剤が 70%以上付着している事を確認して下さい。
・重いタイル等は接着剤塗り付け後、約 20 分位おいて張り付けるとズレにくくなります。
・可使時間の目安は、夏季 30 分、冬季 60 分ですので、それ以内に目地通しを終わらせて下さい。
・気温 5℃以下または 38℃以上の所では十分な性能を発揮できませんので、ご使用を避けて下さい。
・吸水性のあるタイルでも水浸しする必要はありません。

④目地詰め：目地詰めをする場合は、接着剤の硬化を確認して施工して下さい。

■使用上の注意

・使用した道具類は硬化前にシンナー、アルコール、灯油等をウエス等に湿らして清掃して下さい。
・ジョイントテープ、防水テープ、防水紙は必ずブチルゴム系を使用して施工して下さい。アスファルト系のジョイントテープは溶解の危険がありますので、絶対に使用しないで下さい。
・接着剤を厚塗りした場合、硬化速度が遅くなりますので十分注意して下さい。
・シリコーン系、変性シリコーン系のシーリング材や接着剤と同時に施工しないで下さい。未硬化や硬化遅延の原因となります。
・タイル等に付着した場合、ウエス等を用いて硬化前に拭き取って下さい。完全硬化後はシンナーを用いても除去が困難です。
・砂、水、他社品等の異物混錬は絶対に避けて下さい。
・開封後は速やかに使い切って下さい。密封状態で保存しても硬化が進行することがあります。
・接着剤の塗布量が標準使用量より少ない場合、十分な接着力、弾力性、耐久性が得られず剥離事故等の原因となります。特に直射日光や紫外線の影響を受けやすい西向き壁面では、接着剤を厚めに塗布して下さい。
・施工後、紫外線等により色あせする場合があります。
・火気の近くでは使用しないで下さい。
・作業中の換気は十分に行って下さい。

■取り扱い上の注意

・万一目に入った場合や、蒸気を吸って気分が悪くなった場合は、できるだけ速やかに医師の診断を受けて下さい。
・皮膚についた場合は速やかに大量の石鹸水で洗い、かゆみや炎症が発症した場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。
・本来の用途以外に使用しないで下さい。
・フィルムパックの廃材は、内容物を固化させてから地域の条例に基づき処分して下さい。
・詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をお取り寄せ下さい。

■保管上の注意

・直射日光、雨露の当たらない屋内の冷暗所で貯蔵・保管して下さい。
・使用期間は製造日より 1 年間です。
・子供の手の届かない所で保管して下さい。

当取扱説明書は、技術室の資料を基に作成し、十分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工個所の環境・使用材料・施工条件等が異なるため、全ての条件を満たすものではありません。確実な施工を行うためにも施工前に接着性確認試験をされることをお薦めします。

株式会社オオムラ
〒621-0042　京都府亀岡市千代川町高野林西ノ畑 15-1
TEL:0771-25-4545　FAX:0771-22-6288
HP:http://www.ohmura-trading.co.jp